

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

学校法人昭和大学（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的

■ 格付事由

- (1) 医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部を構える医系総合大学。1928 年に上條秀介が設立した昭和医学専門学校を起源とし、「至誠一貫」を建学の精神とする。山梨県富士吉田キャンパスでの 1 年次全寮制教育や 4 学部合同で行う学部連携病棟実習を始めとする「チーム医療」教育に特色がある。看護専門学校を含む総学生数は約 4,200 名。教育施設として、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院など 8 病院を展開し、3,000 床を超える病床数と医療収入は私学トップクラスである。
- (2) 志願者動向は医学部を除いてやや弱含んでいるが、学生獲得力は安定している。各医療施設は厚みのある人材基盤を有し、医療圏で高い競争力を維持している。開業後 3 年が経過する江東豊洲病院などの収支も改善傾向にあり、法人全体で安定したキャッシュフロー創出力を維持できると想定する。また、上條記念館の建設など、現在具体化している投資案件には自己資金で対応可能で、財務リスクは抑制されている。以上を踏まえ、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 医学部は 1 年次全寮制教育や手厚い奨学金制度などが評価され、受験界で一定のポジションを確立している。一方、歯学部、薬学部、保健医療学部では他校との競合が強まる中、志願者増に向けた入試方法の多様化や広報の強化が課題である。医療施設では、16 年度診療報酬改定によるマイナス影響が生じているが、地域連携の強化や救急患者の受け入れの積極化などを通じて、新規入院患者の確保に努めている。江東豊洲病院や横浜市北部病院で収支改善が進みつつある。
- (4) 社会保障費抑制策の強まりに伴い医療施設の収益環境が厳しさを増すとともに、給付型の奨学金制度の拡充など、学修支援に対する支出も増している。ただ、医療施設の集患や学生確保はおおむね順調で、予算統制も堅実であり、収支構造は安定している。一方、財務体質は健全だが、過去の病院開設に伴う支出を受け、基本財産の維持更新に向けた資金の充足度は低い。老朽化が進む旗の台キャンパスや藤が丘病院の再整備を見据え、資金蓄積を加速していく必要があると JCR はみている。

（担当）殿村 成信・佐藤 洋介

■ 格付対象

発行体：学校法人昭和大学

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2017 年 3 月 6 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「学校法人等の信用格付方法」（2015 年 4 月 23 日）、「医療機関の信用格付方法」（2010 年 9 月 6 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 学校法人昭和大学
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル